

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月2日

上場会社名 蛇の目マシン工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6445 URL <https://www.janome.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 真
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 小林 裕幸 (TEL) 042-661-3071
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	8,136	△15.3	46	△64.9	96	△69.9	71	△57.7
2019年3月期第1四半期	9,600	1.2	133	△61.1	321	△27.7	169	△50.4

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △227百万円(—%) 2019年3月期第1四半期 150百万円(△68.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	3.71	—
2019年3月期第1四半期	8.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	50,110	25,323	48.9
2019年3月期	50,657	25,873	49.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 24,500百万円 2019年3月期 25,020百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	40,000	4.8	2,000	73.8	1,900	39.8	1,300	47.7
							円 銭	円 銭
								67.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期1Q	19,521,444株	2019年3月期	19,521,444株
2020年3月期1Q	189,922株	2019年3月期	189,826株
2020年3月期1Q	19,331,570株	2019年3月期1Q	19,331,625株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、緩やかな回復が続いたものの、長期化する米中貿易摩擦問題等の影響により先行き不透明な状況が続きました。

わが国経済におきましては、景気は拡大基調を維持したものの、海外経済の不確実性等から景気減速への懸念が強まりました。

このような中、当社グループにおきましては、2022年3月期を最終年度とする新中期経営計画「JANOME 2021 Navigation for the Future」を策定し、計画の実現に向け全社一丸となって取り組んでおります。

しかしながら、当社グループを取り巻く経営環境は厳しく、当第1四半期の総売上高は8,136百万円（前年同期比1,464百万円減）となり、営業利益は46百万円（前年同期比86百万円減）、経常利益は96百万円（前年同期比224百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は71百万円（前年同期比97百万円減）となりました。

セグメント別の概要は、次のとおりであります。

<家庭用機器事業>

家庭用機器事業におきましては、北米市場は堅調な個人消費を背景に販売台数は回復しつつあるものの、景気回復に力強さを欠く欧州市場や米国の経済制裁の影響を受けた新興国市場は依然として低調な動きとなりました。また、国内市場においても苦戦が続きました。

この結果、海外・国内ミシンの販売台数は30万台（前年同期比7万台減）、家庭用機器事業全体の売上高は6,023百万円（前年同期比949百万円減）となりました。一方で付加価値の高い中・高級ミシンの販売に注力したことで、営業利益は144百万円と前年同期比で110百万円の増益となりました。

<産業機器事業>

産業機器事業のうち、卓上ロボットにつきましては、米中貿易摩擦を背景とした中国の景気減速や、国内における設備投資意欲の鈍化による影響から販売は伸び悩みました。サーボプレスにつきましては、総じて堅調に推移したものの、自動車部品関連企業向け販売の一部に弱さが見られました。また、ダイカスト鑄造関連事業は取引先の生産調整による影響を受け、苦戦が続きました。

その結果、産業機器事業全体の売上高は1,466百万円（前年同期比378百万円減）、営業損失は120百万円（前年同期は81百万円の営業利益）となりました。

<IT関連事業>

ITソフトウェア開発や情報処理サービス、システム運用管理のアウトソーシング等を行うIT関連事業の売上高は473百万円（前年同期比132百万円減）、営業利益は30百万円（前年同期比5百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産は50,110百万円（前連結会計年度末比547百万円減）となりました。

資産の部では、流動資産が受取手形及び売掛金の減少等により22,302百万円（前連結会計年度末比387百万円減）となりました。固定資産は減価償却による減少等により27,807百万円（前連結会計年度末比160百万円減）となりました。

負債の部は、流動負債が短期借入金の増加等により16,407百万円（前連結会計年度末比44百万円増）となり、固定負債は退職給付に係る負債の減少等により8,379百万円（前連結会計年度末比40百万円減）となりました。

純資産の部は、為替換算調整勘定の減少等により25,323百万円（前連結会計年度末比550百万円減）となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末から220百万円増加し、6,311百万円（前年同期比4百万円減）となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益96百万円、減価償却費333百万円、売上債権の減少664百万円などにより、42百万円の資金の増加（前年同期は939百万円の資金の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、機械・金型等の有形固定資産取得による支出182百万円などにより、133百万円の資金の減少（前年同期は351百万円の資金の減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加693百万円などにより、382百万円の資金の増加（前年同期は353百万円の資金の減少）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日に公表しました2020年3月期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,715	6,767
受取手形及び売掛金	6,827	6,068
商品及び製品	5,391	5,342
仕掛品	589	716
原材料及び貯蔵品	2,841	2,971
その他	606	705
貸倒引当金	△282	△269
流動資産合計	22,689	22,302
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,874	5,782
土地	14,440	14,429
その他（純額）	2,739	2,729
有形固定資産合計	23,053	22,942
無形固定資産		
その他	1,071	1,015
無形固定資産合計	1,071	1,015
投資その他の資産	3,842	3,849
固定資産合計	27,967	27,807
資産合計	50,657	50,110

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,727	2,235
短期借入金	10,344	10,972
未払法人税等	264	189
賞与引当金	506	262
その他	2,520	2,746
流動負債合計	16,363	16,407
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	3,433	3,433
退職給付に係る負債	4,032	4,007
その他	954	938
固定負債合計	8,420	8,379
負債合計	24,783	24,786
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,372	11,372
利益剰余金	7,803	7,585
自己株式	△325	△325
株主資本合計	18,851	18,633
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	114	107
土地再評価差額金	6,660	6,660
為替換算調整勘定	△358	△688
退職給付に係る調整累計額	△246	△212
その他の包括利益累計額合計	6,169	5,867
非支配株主持分	852	823
純資産合計	25,873	25,323
負債純資産合計	50,657	50,110

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	9,600	8,136
売上原価	5,963	4,769
売上総利益	3,636	3,366
販売費及び一般管理費	3,502	3,319
営業利益	133	46
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	35	36
為替差益	117	—
その他	56	39
営業外収益合計	216	82
営業外費用		
支払利息	20	23
その他	8	9
営業外費用合計	28	32
経常利益	321	96
特別利益		
固定資産売却益	24	0
特別利益合計	24	0
特別損失		
固定資産除売却損	3	0
特別損失合計	3	0
税金等調整前四半期純利益	341	96
法人税、住民税及び事業税	117	82
法人税等調整額	49	△45
法人税等合計	167	37
四半期純利益	174	59
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	4	△12
親会社株主に帰属する四半期純利益	169	71

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	174	59
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31	△6
為替換算調整勘定	△96	△314
退職給付に係る調整額	41	33
その他の包括利益合計	△23	△286
四半期包括利益	150	△227
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	163	△230
非支配株主に係る四半期包括利益	△12	3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	341	96
減価償却費	343	333
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△21	△31
受取利息及び受取配当金	△42	△43
支払利息	20	23
売上債権の増減額 (△は増加)	218	664
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△16	△390
仕入債務の増減額 (△は減少)	153	△450
その他	134	△19
小計	1,131	182
利息及び配当金の受取額	37	46
利息の支払額	△20	△23
法人税等の支払額	△209	△162
営業活動によるキャッシュ・フロー	939	42
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△97	△26
定期預金の払戻による収入	31	156
有形固定資産の取得による支出	△270	△182
有形固定資産の売却による収入	44	1
無形固定資産の取得による支出	△55	△84
その他	△4	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△351	△133
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△133	693
配当金の支払額	△157	△238
その他	△62	△72
財務活動によるキャッシュ・フロー	△353	382
現金及び現金同等物に係る換算差額	△36	△70
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	197	220
現金及び現金同等物の期首残高	6,118	6,091
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,316	6,311

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	家庭用機器	産業機器	I T 関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,973	1,844	605	9,423	176	9,600
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	197	107	313	89	403
計	6,982	2,041	712	9,737	266	10,003
セグメント利益	33	81	25	140	△16	124

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	140
「その他」の区分の損失	△16
セグメント間取引消去	9
四半期連結損益計算書の営業利益	133

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	家庭用機器	産業機器	I T 関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,023	1,466	473	7,963	172	8,136
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	135	115	259	87	347
計	6,032	1,601	588	8,222	260	8,483
セグメント利益又は損失(△)	144	△120	30	54	△14	40

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	54
「その他」の区分の損失	△14
セグメント間取引消去	6
四半期連結損益計算書の営業利益	46